

○広報さかい

sakai

No.660

令和7年6・7・8月号

第38回 さかいふるさと祭り



特集!

- 橋本町長インタビュー POTLUCK 記事…2
- さかいニュース…13
- 長田小児童をアルゼンチン共和国へ派遣…8
- スポーツ・寄付…15
- アリアマヌ中学校生徒境町へホームステイ…10
- さかいアート・さかい文芸…18
- 物価高騰・熱中症対策・町民還元工場祭レポート…12

特集：私たちの「まち」の経営学

自治体の 「非常識」を 「常識」に

境町町長
橋本正裕氏

—— 境町はかつて、財政破綻寸前とも言われる状態だったと伺いました。就任当時の状況を教えてください。

2014年に町長に就任したとき、境町は本当に厳しい状態でした。借金45年連続で増え続け、将来負担比率は180%超。全国1741市区町村（当時）の中でも下から29番目の財政状態で、基金もほぼ底をついていたんです。人口も毎年400人以上減っていて、このままだと5年後には財政破綻するというシミュレーションまで出ていました。

普通ならそこから給料カット、補助金削減といった緊縮策に入るのでしようが、境町は「稼ぐほうに振る」という判断をしました。

その結果、今では借金は年々減少し、貯金は51億円に。「何か特別なことをしたのですか？」とよく言われますが、実際には「当たり前のこと」「を積み上げてきただけなんです」。

町長になって12年経ちますが、ずっと「これは経営なんだ」という感覚でやってきました。どこに

投資して、どこで回収するか。どうすれば住民の満足度を維持しつつ、持続可能な形にできるか。それを考え抜いて少しずつ改善を繰り返してきました。

自治体は、新しいことなど、出来ない理由を説明しがちです。でも、境町はどうしたら出来るかを考える自治体なんです。0から1を生み出すのが得意なので、それが、境町のV時回復の秘訣だと思います。

稼ぐ自治体へ。ふるさと納税と地場産業の戦略的展開

—— 境町といえば、ふるさと納税の成功事例としても注目されています。どのようにこの制度を「稼ぐ仕組み」に育ててきたのでしょうか？

当初のふるさと納税の寄付額は年間6万5,000円。そこから「まず5,000万円にしよう」と決めて動き出しました。何をやったかといえば、とにかくマーケティンググリスサーチです。

ふるさと納税が6.5万円から99億円に。 財政破綻寸前からV字回復させた 型破り町長の「経営論」

茨城県西南端に位置する人口約2万4,000人の境町。町内に鉄道駅はなく、決して恵まれた立地ではありません。かつては、人口流出に加えて財政破綻の危機に陥り、町の将来に明るい展望を描くことすら難しい時代があったそうです。

しかし、そんな境町のまちづくりが、いまや全国から視察が絶えないほど注目を集めています。

境町の道の駅の駐車場は、県外ナンバーの車でにぎわい、併設する施設の中には高級ステーキハウス「ウルフギヤング」(SAKATEPPAN by Wolfgang Zwiener)が店を構えています。

また町内には他にも寿司の名店「おのでら」(廻転鮨銀座おのでら境町店)が出店しているほ

売れる返礼品は何かを徹底的に調べ、実際に楽天や「さとふる」などのサイトを毎日見て、何がどのくらい売れているのかを「日次」で追っていました。たとえば、鰻牛肉など、売れるものはだいたい決まってるんですよ。あとは、それをどうやって町で作るかを考えるだけです。

その土台を支えているのが、株式会社さかいまちづくり公社です。もともと境町には「道の駅さかい」がありましたが、当初は別の民間企業に運営を委託していました。でも売上はピークの2億円から1億5,000万円まで落ち込んでいた。そこで僕は、観光協会に運営を移しました。すると売上が1年で2億7,000万円にまで回復したんです。

儲かりすぎてしまったので、会計士から「協会のままではまずい」と言われて半官半民で設立したのが、さかいまちづくり公社です。道の駅の運営に加えて、ふるさと納税の実務もこの公社が担っています。当初は3人でスタートしましたが、いまや従業員180名以上、年商30億円超の組織になっています。

か、BMXやスケートボードが楽しめる世界基準の屋内競技場や人工サーフィン施設も。

さらに町中には日本の自治体で初となる自動運転バスが一般公道を走り、英語教育や移住者向け住宅支援制度の整備まで。

その背景には、2014年に町長に就任し、財政破綻寸前だった町を立て直した橋本正裕町長の存在があります。町長の就任後、境町の借金（地方債残高）は約25億円減り、貯金（財政調整基金等）は約50億円を超え、まさにV字回復を果たしています。

境町の劇的な変化は、どのように起こったのか。橋本町長に境町の自治体経営について話を聞きました。



隈研吾建築都市設計事務所が設計した道の駅の「さかい河岸レストラン茶蔵」。

干し芋は、町内の葉たばこ農家が転作でサツマイモを作り、さかいまちづくり公社の工場で加工して出す。最初の1年で1億円の寄付が集まり、2年で初期投資を回収しました。境町に工場があれば、返礼品として出せる。ないなら建てるか、誘致すればいい。鰻や牛肉も同じスキームです。



重要なのは、ふるさと納税が永続的な制度ではないという前提で動いていることです。いつか制度が終わっても、自走できるように。たとえば、鰻なら一般販売のルートも確保しています。制度があってもなくても回る事業にしておくのがポイントです。

ふるさと納税の寄付額はピーク時（2023年）で約99億円。昨年は米不足の影響もあり60億円前後の寄付額でしたが、それでも町にとっては大きな柱です。制度を使って終わりではなく、そこから雇用を生み、産業を育て、地域に根付かせる。この「稼ぐ仕組み」をいかに地域に展開できるかが、自治体経営のポイントだと思っています。

”持ち出しゼロ”で公共施設を運営する「境町モデル」

——ふるさと納税に加えて、境町では公共施設整備の手法でも注目を集めています。

境町では、公共施設の建設・運営を一括プロポーザルで民間に委ねる仕組みを採用しています。そこでは設計・施工・運営、そして運営時に施設を利用する賃料までを含めた「デザインビルド方式」を企業に求めています。運営コストは事業者が負担す

るため、町の負担はありません。また、建設費の約50%は国からの交付金等でまかない、残りの施設投資分は家賃で回収します。そのため、町は「持ち出しゼロ」で施設の建設・運営が可能になるのです。

また、一括プロポーザルをしている背景には、「施設をどう使うか」を最初から決めているという発想があります。よくあるのは、施設を建ててから「誰か使ってくれる人がいないか」と探すパターン。でも、それでは誰も使わないし、企業側も施設を使いにくいですよ。境町では、運営者を最初に決めたいえで、その事業者と一緒に施設をつくっていきます。工場、グラ

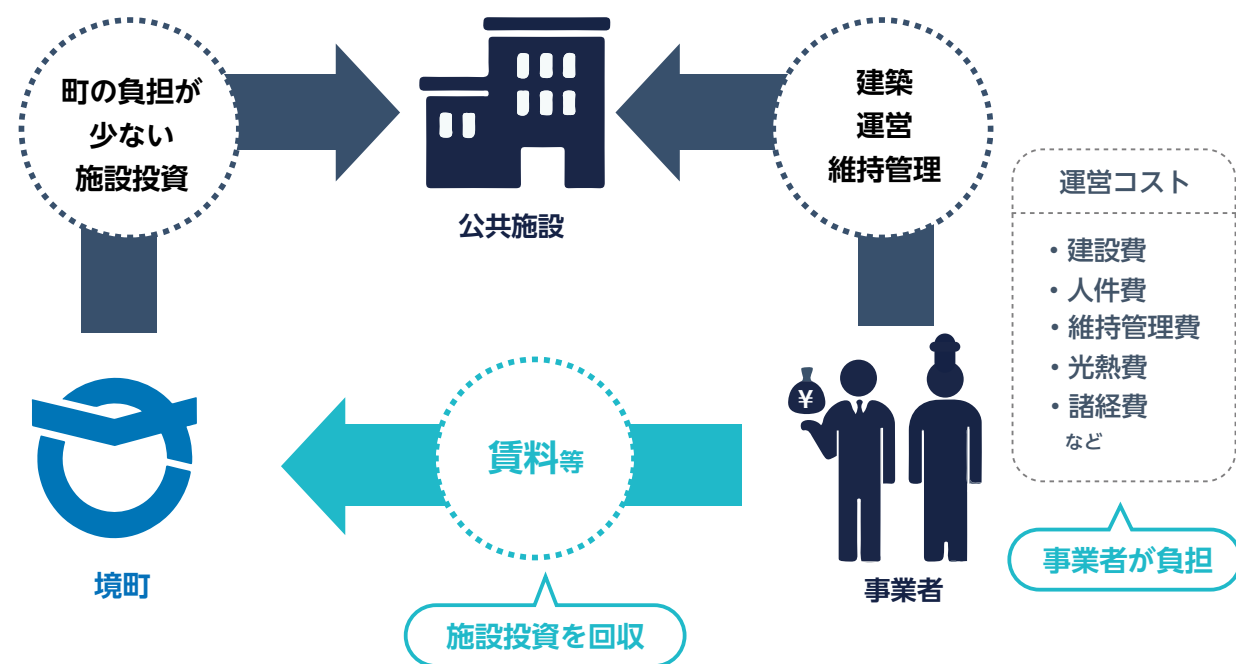
ンピング施設、人工サーフィン施設などもすべてこの手法です。さかいまちづくり公社はこのスキームで現在5つの工場を抱えています。年間3,300万円の家賃を境町に払っています。が、事業は順調に伸びています。企業側にとっても初期の設備投資のコストが必要なく、家賃だけで自分たちが利用しやすいよ

うに建てられた工場を持てるのは、大きなメリットがあります。最初は主にさかいまちづくり公社を対象としたスキームでしたが、今ではさまざまな企業がこのスキームで境町に拠点を構えています。企業誘致を促進するのに加え、余剰商品をふるさと納税の返礼品に回してもら

うことで、ふるさと納税の寄付額増加にもつながります。多くの自治体では、公共施設などの管理を民間に委託する際に、「自治体が委託料を払う」というのが当たり前です。しかし、境町では、投資をしたら回収するという考えのもとに事業を実施しています。

さらには住宅分野ではPFI手法を活用し、家賃を支払えば25年後に土地と建物が無償譲渡される「あげちゃう住宅」という制度を実施しています。国の交付金と賃料で開発費を賄うことで、町の財政負担はない仕組みで、移住促進と資産形成支援を両立しています。

境町モデル



——とはいえ、そうした大胆な手法は他の自治体ではなかなか見られません。

みんな「そんなの出来ない」と思っている。でも境町では出来ている。実際、民間企業との協働事業は企業のトップに直接僕が営業します。他の自治体は「なぜその企業なのか」と説明が難しいため、なかなか民間企業を選ぶことができません。境町では、企業を選定するのに「境町に来てくれる企業なんてない」という考えからはじまっているので、そこが他の自治体とは違うところだと思っています。そのため、企業を選んだ理由を議会や住民に説明するのも難しくありません。

実際には、境町では、企業のトップに当町に来ていただき、「この町は他と違う」と感じていただけるようにプレゼンします。民間企業のトップが、境町でプロジェクトをしたい。そう思ってくれば、進出や協業を決めてくれます。

移住者を惹きつける
”町の価値”

——境町は、ここ数年で移住者が急増しています。どのような視点で施策を展開されてきたのでしょうか？

移住促進に必要なのは、「セツト」で考えることです。住居だけ整えても、仕事や教育が整っ



干し芋などの町の特産品の開発施設「S-Lab」。設計は隈研吾建築都市設計事務所によるもの。



ていなければ人は来ません。境町では、雇用・住宅・教育の3点をパッケージで整えるようにしてきました。

まず仕事については、元の職業のまま働ける環境が大切です。僕たちが移住者に話を聞いたときも、「今の仕事をそのままできるから境町を選んだ」という声が多かった。テレワーク可能な仕事の人にとっては、東京から

車で70分という立地が強みになります。さらに企業誘致や産業支援にも力を入れて、町内で働ける場所の確保にも努めてきました。

住まいについては、地域優良賃貸住宅を次々と建てていて、先ほど説明をした「あげちやう住宅」の制度も導入しました。東京で狭い賃貸に暮らしていた人が、庭付き一戸建てに住めるようになる。それだけで生活の質がガラッと変わります。

教育面では、境町は全小中学校に外国人英語講師を常駐させて、英語教育を強化しています。中学3年生の英検3級保有率は52%超、全国平均の約2倍です。小学生・中学生の希望者にはハワイへのホームステイも提供しています。「子どもにはグローバルな環境で学ばせたい」という親御さんの期待に応える制度です。

こうした施策を通じて、境町では人口の自然減を移住による社会増で補い、2024年度には人口が増加。町の規模を考えれば、これは相当な成果です。

行政の「常識」は世の中の「非常識」

——多くの自治体が境町のまちづくりを学ぶために視察に訪れています。橋本町長は今の日本の自治体経営の課題をどう捉えていらっしゃるのですか？

自治体の多くは、いまだに「前例踏襲主義」の運営から抜け出せていません。財政が厳しいといいながら、コストの見直しもせず、他と比較することもないまま「うちはこちらだから」と言って現状維持に甘んじてしまっています。

これからの自治体は、マーケティングとマネジメントが重要です。地方の自治体は、人口減や高齢化で、公共交通機関の維持も難しくなっていますから、今のうちに、少しでも稼ぐ仕組みを構築し、いつまでも住み続けられる、持続可能な自治体にしていかなければなりません。つまり、自立した、自治体経営が重要になるのです。

僕は「自分の家のことだったら

せん。でも、交流すれば、応援してくれる仲間は見つかるし、形にもなります。

だから、まずは行動してほしいですね。財源がないなら補助金のとりを学べばいい。人材がいらないなら、民間と組めばいい。先にやっている町を見て、いいと思ったら真似すればいい。それで、地域全体が良くなっていけば、日本全体も必ず変わっていくと思っています。



POTLUCKYAESU
特集記事より転載

どうするか」という視点で、職員に聞くことがあります。自分の家のことだったら、フェンスひとつ建てるのにも複数社から見積もりを取って、コストと品質を比較しますよね。でも自治体はそうしない。自分のお金ではないという意識になりがちなんです。

だから僕は、職員にもこう言うんです。「それ、自分の家でもやる？」って。自分事にすることが大切なんです。

行政の中では「常識」でも、世の中の「非常識」ってことはたくさんある。でも、そういう感覚のズレを正していかないと、町はよくなりません。

——橋本町長が町政におけるマネジメントで特に意識していることはありますか？

ひと言で言えば、「職員のせいにはしないこと」です。何かあったら、職員の責任ではなく、すべて、報告・連絡・相談を僕にして、何かあったら僕の責任になるようにしています。

多くの自治体では、首長に、

職員が方針や施策をアドバイスする。でも僕はそうはしません。役所の中の「慣例」に振り回されず、経営感覚を持って、自分で判断するようにしています。

あとは、専門的な領域に関しては外部人材を頼ることも必要です。たとえば境町では、施設建築や契約業務に関して、役所の担当者が設計士や施工業者と直接やりとりすることが多かった。でも専門知識がなければ、そこで不利益を被ることもあります。だから境町では、一級建築士を外部アドバイザーとして雇い、すべての設計・施工案件に同席させています。民間なら当たり前の「伴走パートナー」を、行政にも取り入れていくんです。

——ここまで、境町で展開されてきた多様な取り組みについて伺ってきました。最後に、これから地域づくりや自治体経営に取り組もうとする方々へのメッセージをお願いします。

よく「境町だからできる、境町にしかできない」と言われます。





見たものすべてが感動と驚きの連続！
●相良優奈さん

海外に行くことや、一週間家を離れることなど、初めてのことがばかりですごくいい経験になりました。最終日には、リクエストをしたエル・アテネオに行きました。エル・アテネオは世界で2番目に美しい本屋さんと言われており、もともとは劇場だったそうで、劇場ならではの飾りだったり、その中に本棚があったりする不思議な場所でした。この貴重な一週間を大切にこれから人生に役立てて行きたいです。



言葉の壁を越えてコミュニケーションがとれた
●太田陽貴さん

大使公邸や日本人学校、オリンピック委員会や日亜学院を訪問しました。どこも簡単には行くことができないところばかりで、長田小学校や境町との交流があったこそだと思いました。今回の派遣で、つながりを持つことの大切さを感じました。アルゼンチンの人たちが日本人に対して親切なのは、昔の日本人たちの努力あってこそだということを知りました。僕も今後の交友関係を更によくするために、今回学んだアルゼンチンの良さをみんなに伝えていきたいと思います。また、外国の人に日本の良さを伝えていけるよう努力したいです。



この経験を必ず将来に役立てたい
●関こはるさん

7日間を通してとても思い出に残る楽しいアルゼンチン派遣事業でした。特に印象に残った場所は、「カミニート」という場所です。その場所には、カラフルな家がたくさんあり、絵なども飾ってありきれいでした。今回家族に頼らず自分たちで考えて行動し、友達と協力して活動することができたと思います。小学生の私達にこのような貴重な体験をさせてくれた橋本町長や、サポートしてくださった方々、本当にありがとうございました。



町長！夢を叶えてくれてありがとうございます
●野村暖武さん

アルゼンチンの日の集いの時、町長に勇気を出してお願いをしたことが実現しました。アルゼンチンでは日本人学校で、境町や長田小学校のことを紹介して、質問タイムではたくさん質問をしてくれて、『カルナバリート』というダンスと一緒に踊り、とても仲良くなることができました。一生の自慢になると思います。今回、僕達の思いを汲んでいただき、本当にうれしかったです。僕の夢を叶えてくれた町長さんには、本当に感謝しています。いつか世界の人達と交流できるようにしっかりと勉強していきたいです。

アルゼンチン派遣
7日間

5年ぶり！

境町×アルゼンチン 国際友好交流

長田小の児童 8 名を アルゼンチン共和国へ派遣

2月3日～2月9日



アルゼンチンへ
Argentina

「僕もアルゼンチンへ行きたい」児童の願いが実現

このアルゼンチン派遣事業は、90年以上交流の続いている長田小学校とアルゼンチン共和国とのつながりをより深いものとするために始まりました。その後、コロナによって一時交流が中止となっていました。しかし前回のアルゼンチンの日の集いの際に、「僕はずっとアルゼンチンに行くのが夢でした。」という児童の熱い想いを受け、5年ぶりに長田小児童8名のアルゼンチン共和国派遣が実現しました。

現地では、駐アルゼンチン日本国大使の山内弘志大使の公邸を訪問し、アルゼンチンについて様々な話を聞くことができました。その後ブエノスアイレス日本人学校や日亜学院、アルゼンチンオリンピック委員会などを訪れました。2日目にはマルコス・パス市へ行き、市役所や環境保全団体の方の話を伺った後、現地の小学生と一緒にスポーツで交流しました。さらに、アルゼンチンの首都であるブエノスアイレスの市内観光では、オペリスク、五月広場、カミニート、メトロポリタン大聖堂などを見学し、アルゼンチンの歴史を学びました。

児童たちは文化や生活様式の違いなどを肌で感じる体験をしました。児童からは、「アルゼンチンの肉とコーラを飲んで、楽しい食事だった。」「アルゼンチンの方たちがとても優しく、スペイン語で話しかけると、笑顔で返してくれて嬉しかった。」「帰ったらもっと外国語を学びたい」といった声が聞かれました。今回の派遣では、児童たちが様々な場面で積極的に言葉の壁を越えて交流する姿が見られました。今後も、子どもたちの国際感覚を高められる環境づくりに努めていきます。



とても素晴らしい派遣に！ありがとうございます！



世界で2番目に美しい本屋エル・アテネオへ



カミニートの街並みを散策



化石のレプリカ作り体験



地元の小学生とサッカー



日亜学院でエンパナダを食べました！



オリンピック委員会を訪問



素晴らしい体験のバトンを次の人たちに繋げたい
●相良奈穂さん

日本人学校では、生徒の皆さんが学校の行事や日常生活などを紹介してくれました。私たちは長田小学校やアルゼンチンとの交流の歴史、さらには境町について紹介しました。夜にはタンゴを見に行ったり、実際に体験したりしました。とても魅力的でした。食文化や生活が異なる世界は面白いな、もっと知りたいなと思いました。そして、アルゼンチンで体験したことをいろいろな人に伝えて、私たちのバトンを次の人達につなげたいと思います。



外国の言葉を覚え、役立つ自分になりたい
●飯田莉夢さん

アルゼンチンまでは片道30時間以上という長旅で、初めての体験でとても多かったですが、その分現地で素晴らしい体験ができてよかったです。これからますますスペイン語などの外国語を覚える事が必要なんだろうと思いました。スペイン語などを知っていたら日頃困っている人を助けられると思います。今回実際に体験してみて、今の自分は全然世界のことを知れていないなと思い、私に優しくしてくれた方や、助けてくれた方のように、少しでも役に立つ自分になりたいと思います。



アルゼンチンの情熱と優しさを感じる派遣に
●中山莉緒さん

日本人学校では、アルゼンチンの伝統的な踊り「カルナバリート」を教えてもらい、楽しい踊りの交流ができました。日亜学院では、学校の歴史や以前長田小学校に訪問した事がある卒業生の方々と学校見学やゲームをしました。とても楽しい思い出ができました。私はこの派遣事業を通して、アルゼンチンの人びとの優しさと情熱に触れる事ができた事が一番良かったです。今後、長く交流を続けていく為にアルゼンチンの友達に日本に来たら、今度は私が日本を案内したいです。



一生忘れられないアルゼンチン派遣
●太田晴貴さん

2日目は、マルコス・パス市に行きました。市役所や環境保護の方の話を聞き、昼食をとったあと、公園へ行き現地の小学生と一緒にドッジボールやサッカーをしました。フレンドリーで積極的に仲良くしてくれてとてもいい思い出になりました。この派遣事業を通して使う言語が違う人達を結ぶには通訳の仕事がとても大切だということがわかりました。これからは英語の授業にも積極的に参加し、将来少しでも英語をしゃべれるようにしたいと思います。



カミニート



ブエノスアイレス日本人学校
Buenos Aires

「カルナバリート」を一緒に！



マルコス・パス市の小学生と一緒にスポーツ交流



大使公邸
Embajada

山内弘志大使と橋本町長と派遣団で記念撮影



アリアマヌ中学校の生徒たちとホストファミリーのみなさんの声



ミカ・エリクソンさん

川越で和菓子作りやガラス細工を体験し、家族との食事や会話も楽しい思い出です。境町では学校訪問や町長へのフラ披露、自動運転バスや茶道、剣道など多くの日本文化に触れられ、素晴らしい体験ができました。学校でも再会した友人たちと過ごし、多くの新しい友達もでき、温かい歓迎に感謝しています。

橋本ファミリー（西泉田）

川越観光。氷川神社参拝し、人力車に乗り、川越を案内してもらいました。お昼にミカが食べたがっていたうどんを食べました。とんぼ玉作り体験、和菓子作り体験、足湯カフェで足湯しながら抹茶わび餅ラテを飲みました。



ハンナ・ペバンズさん

ホストファミリーはとても親切で、まるで家族の一員のように温かく迎えてくれました。家族の日には東京の市場やスカイツリーを巡り、美味しいラーメンやクレープを楽しみました。境町の観光ツアーや学校生活も日本独特の文化に触れる貴重な時間でした。最後の別れは寂しかったものの、心から感謝し、また訪れたいと思う素晴らしい旅でした。

主藤ファミリー（染谷）

お台場デックスにあるお台場一丁目商店街へ行きました。駄菓子や昭和レトロの雑貨などショッピングをしました。お昼はラーメンを食べました。ハンナはお箸を上手に使い食べていました。クレープを食べたいということで家族みんなで堪能しました。



レイナ・ブラウンさん

ホストファミリーは自衛隊関係の方で、私の家族の軍経験についても興味を持ってくれ、初日から本当の家族のように接してくれました。家族の日には陶芸体験やカフェ巡りをし、子猫と遊んだことも楽しい思い出です。日本語を話すことで生徒たちと深くつながることができ、交流の幅が広がりました。別れが寂しくなるほど温かい時間を過ごせました。

金田ファミリー（金岡）

栃木県益子町にて陶芸体験後、益子の茶屋にてランチ、ワークショップに参加したあと餃子ディナーを楽しみました。雨でとても寒かったけど陶芸に集中！素敵な作品が作れました。



アリーヤ・ジョーンズさん

ファミリーデーでは、ショッピングや市場、歴史あるお寺を訪れ、寿司も堪能しました。学校では生徒たちがとても親切で居心地がよく、給食も大好きになりました。最後の夕食で家族から手紙をもらい、自分が本当に家族の一員として迎えられたことに感動し、人生最高の春休みになりました。

関ファミリー（住吉町）



関宿城散策と、春日部イオンに行きました。アリーヤと過ごせて楽しかったです。たった数日で家族のような関係になりました。

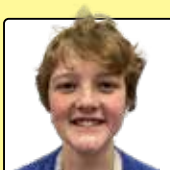


ジャズリン・ピンクストンさん

ホストファミリーは温かく迎えてくれ、まるで兄弟がいるように楽しく過ごせました。富士急ハイランドや雪遊びを楽しみ、VR体験も満喫しました。毎日美味しい朝食やお菓子をたくさん用意してもらい、感謝しています。学校では楽しい授業やゲームで友達ができ、最後にはクラスでスピーチも経験できました。素敵な思い出ができました。

鈴木ファミリー（松岡町）

富士急ハイランドではNARUTOのアトラクションに乗る事を楽しみにしていたのですごく喜んでました。忍野八海では生憎の雪でしたが、初めての雪と雪合戦はとても楽しく笑いが絶えませんでした！

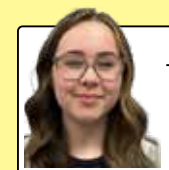


クレイトン・イングリッシュさん

最初は緊張していましたが、日を追うごとに安心して過ごせるようになり、とても素晴らしい時間を過ごしました。家族と一緒にラーメンやお城、ゲームセンターに行き、深い関係を築きました。学校では剣道や柔道を体験し、美味しい給食も楽しめました。多くの思い出ができ、一生の宝物になりました。

飯田ファミリー（蛇谷）

関宿城や自然博物館、イースつくばへ行きました。お城と川と富士山が同時に見られることを伝えたらとても興味深うにしていました。クレイトンとの時間が本当に楽しかっただけに、もっといろんなことを一緒にしたかったです！



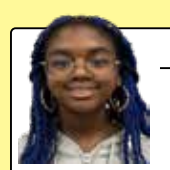
ソフィー・リーブスさん

岡田さん一家はとても温かく迎えてくれ、ウクレレを練習したり、一緒に餃子を作ったりしました。家族で鎌倉や渋谷に行き、雨の中でも美味しい食べ物や買い物をしました。学校では制服や授業、給食、掃除、部活動など、日本ならではの体験が新鮮で感動的でした。最後にはクラスメイトと交流し、贈り物や思い出をもらって涙が出るほど嬉しかったです。

岡田ファミリー（松岡町）



鎌倉へ渋谷へ行きました。当日は寒くて雨の中だったので、すぐに渋谷に移動し、ソフィーが好きな呪術廻戦の聖地巡礼や、グッズ購入ができてとても喜んでいました。



レイナ・クンビーさん

ホストファミリーと訪れた牛久大仏では、手水やお札への願い書きなど日本の伝統文化を体験しました。ラーメンや寿司、さつまいもなどを楽しみ、料理のレシピ交換もしました。私はフレンチトーストを作り、家族はオムライスを教えてくれました。町の見学ではドローン技術やスケートパークの選手たちに感動し学校でも温かく迎えられ、貴重な体験ができました。

中川ファミリー（住吉町）

牛久大仏へ行き、胎内へ入ったり、猿のショーを見ました。猿のショーは日本特有なのか初めて見るようでした!! イースつくばへ行って洋服や雑貨を買ったりして楽しみました! 途中で食べたラーメンや餃子がとても美味しかったです。



ソフィア・クロセさん

家族の日で行ったディズニーランドは、人生初の経験で感動的な一日となり、より親しくなれた特別な思い出です。学校ではクラスメイトが歓迎してくれ、多くの友達ができました。最後には手紙やおすすめの観光地も教えてくれ、心温まるイベントでした。毎日の食事も美味しく、日本での生活が本当に楽しく、忘れられない経験となりました。

加藤ファミリー（上小橋）



東京ディズニーシーに行きました。雨でしたが、空いていたので沢山乗り物に乗れました。タワー・オブ・テラーに乗ったら搭乗中は終始隣の席の梨那としがみ付きあっていました。



レイラ・ブラックモアさん

ホストファミリーは、皆とても親切で楽しい日々を過ごせました。日光で雪を見て、江戸ワンダーランドで忍者ショーや迷路、餅焼き体験も楽しみました。学校では制服を着て、町長訪問や町の観光、茶道体験、スケートパークなど充実の内容でした。ホストママのグルテンフリーラーメンは最高でした。別れの日には涙が出るほど寂しく、大切な思い出がたくさんできました。

佐々木ファミリー（松岡町）



日光東照宮と日光江戸村へ行きました。途中雨から雪になり、人生で2度目の雪にレイラはとても興奮して喜んでいました。その後日光江戸村で、江戸時代の日本の趣きを味わいました。

3月15日～20日までアリアマヌ中の生徒が境町にホームステイ

ハワイ州ホノルル市にあるアリアマヌ中学校から13人の中学生が境町を訪れ、5泊6日のホームステイをしながら学校生活体験を行いました。境町は平成30年9月にホノルル市と友好都市協定を締結、令和元年12月に境町の中学校とアリアマヌ中学校の姉妹校提携協定を締結しており、境町がアリアマヌ中学校生徒を受け入れるのは、今回3回目になります。

17日(月)に町主催で歓迎会が開かれ、アリアマヌ中の生徒からの要望で境町の町づくりについて橋本町長への質問タイムが設けられ、活発な質疑が行われました。

アリアマヌ中の生徒たちは境一中と境二中2つのグループに分かれ、境町の中学生や先生と英語で会話をしながら、授業や部活などを体験しました。また、16日(日)には、ホストファミリーのみなさんと一緒に、それぞれ楽しく、日本の休日を過ごしました。



▲境一中でビンゴゲームのルールを説明する様子



▲境二中でハワイの絵柄に水彩で色塗りの授業を体験



5/19

コビープリスクールさかいの園児が長野園で茶摘み体験を実施

コビープリスクールさかいと、交流を行っているコビープリスクールはこざぎ(東京日本橋)の園児が、長野園(伏木)で茶摘み体験を実施しました。当日は小雨が降っていましたが、園児の到着時には雨が上がり茶摘み体験を行うことができました。「見てみて!」「たくさんとれたよ!」と初めての茶摘み体験に、摘んだ茶葉を見せあいながらお友達と一緒に楽しむ姿が見られました。茶摘み体験後には冷茶が振舞われ、「苦いけどおいしい!」「おかわり!」と地元の特産品であるさしま茶を味わいました。摘んだ茶葉は園で天ぷらにして給食で振舞われ、園児たちはおいしそうに食べていました。地元の特産さしま茶を摘んで、飲んで、食べて、楽しむ、よい機会となりました。



みてみて！立派な茶葉がとれたよ！茶摘み体験の様子

6/29

利根川の氾濫を想定し住民・関係機関等約1,000人が「令和7年度 境町総合防災訓練」に参加

6月29日(日)、利根川氾濫を想定し、広域避難を主体とした「令和7年度 境町総合防災訓練」を実施しました。住民約680人が参加し、実際の広域避難所である総和工業高校、八千代高校、元坂東総合高校の3カ所同時避難を初めて実施しました。

訓練は、巨大台風接近に伴う利根川氾濫の危機に接し、8時に災害対策本部会議において本部長が広域避難を決心、8時30分に「高齢者等避難」、9時15分に「避難指示」を発令後、住民は避難情報を確認後、それぞれ各避難所へ避難し、要配慮者は、町で準備したマイクロバス3台で避難しました。今回は、避難所に掲示してあるQRコードの読み込みだけで簡単に受付できる新たな防災アプリを体感いただき、住民からは「あっという間に受付ができた」「実際の災害時もスムーズにできる」などの声がありました。訓練後には、文化村において、防災アドバイザーである東京大学大学院の片田先生の訓練講評をいただき、境一中による防災活動展示や、災害VRをはじめ、消防、警察、自衛隊、協力企業等による各種の展示・体験訓練を行いました。

多くの住民が参加して、いつおこるかかわからない大規模災害に対し、住民一人ひとりが「自らの命は自ら守る」の意思のもと、官民一体となった防災訓練として非常によい機会となりました。



消防器体験を行う橋本町長と参加者。しっかり消火完了しました！



5/3～6

さしま茶新茶まつりを開催

5月3日(土)～6日(火)の4日間、道の駅さかいにおいて、境町の特産品である「さしま茶」のPRのため、境町茶生産組合(宮田保組合長)協賛による「2025 さしま茶新茶まつり」が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、会場では新茶の試飲や販売のほか、道の駅さかいオリジナルのスイーツやドリンクが販売されました。また、「さしま茶クイズラリー」の正解を集めてガラボンが引けるイベントも行われ、参加した子どもも大人もとても楽しんでいました。

会場には近隣市町村だけでなく、遠方からも多くの方が訪れ、摘みたての新茶の試飲を味わいました。

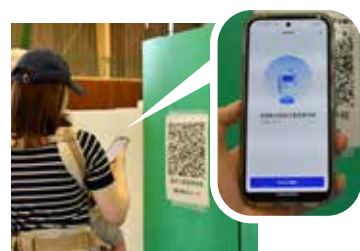
来場者は「新茶はやっぱり、とても美味しい!」「みずみずしい味わい!」と新茶を楽しみ賑やかな4日間となりました。



新茶の試飲をしている様子



ガラボンに挑戦！



境一中の生徒が、防災に関するパンフレットを作成しパネル展示を行いました。当日は、パンフレットを使って取り組みを説明し、外国の方には英語版を使って生徒が英語で説明しました。

境町の暮らしを応援

物価高騰対策
熱中症対策
町民還元！工場祭

物価高騰対策

境町では、円安や原油高・原材料費の高騰による物価上昇の影響を受ける町民の皆様の生活を応援するため、緊急対策を実施しました！

水道料金基本料 2 か月無料！

水道料金基本料金を2カ月分無料！

物価高騰による家計への負担を助けるため、令和7年7月・8月の2カ月間、水道料金の基本料金を無料に！

補助を増額し給食無料化を継続！

保育園・認定こども園等における給食費補助金を増額！

町では子育て支援の一環として、給食費の無償化を実施しています。しかし、昨今の物価高騰により、給食にかかる費用が高騰していることから、引き続き給食費の無償化を継続させるため、給食にかかる費用について、補助金の増額を実施します。

全町民対象

全境町民対象、物価高騰対策支援給付金3,000円を配布

全町民を対象に現金3,000円を配布しました！

境町出身の町外若者支援！

令和8年3/31まで

米5キロ！ふるさと便の発送！

対象となる若者へ申請により米5キロを発送します。

【対象】18歳から25歳の下記の条件を満たす方

- ・高校3年生まで境町に住民票があった方
- ・現在、家族が境町に住んでいる方
- ・親元を離れ、町外に暮らしている方

県西地域最安値に減額！

放課後児童クラブ利用料を年間84,900円→近隣最安値年間48,000円に！町内全放課後児童クラブの開所時間を午後7時まで延長

放課後児童クラブの利用料について、令和7年7月分の利用料から県西地域最安値一律月額4,000円(おやつ代含む)に減額します。

※令和7年度は、29,400円の負担軽減

また、町内全(5カ所)放課後児童クラブで、午後6時30分までだった開所時間を令和7年7月から午後7時まで延長します。

猛暑・熱中症対策

連日35℃以上の猛暑が続くなか、熱中症の危険が増加しています。町民の皆様や子どもたちが安心して夏を過ごすため熱中症緊急対策事業を実施しています

対象世帯1世帯に1箱配布

境町オリジナルミネラルウォーター配布

町民の方で65歳以上の方、3歳未満の乳幼児、母子手帳の交付を受けた妊婦がいる世帯を対象に、境町オリジナルミネラルウォーターを申請により500mlペットボトル24本入り1箱を配布しました。

1世帯最大4万円まで

エアコン購入費補助金

エネルギー価格の高騰を踏まえ、エアコンの購入または買換えに対する費用について、1世帯につき最大4万円の補助金を助成しています。要件等、詳細はホームページをご覧ください！



町民還元祭

日頃の感謝をこめて！うなぎ工場 S-Lab4th にて、国産うなぎを通常販売価格1尾3,000円のところ1,000円で販売！(1世帯5尾まで、事前申し込み制、抽選販売)

1世帯最大5尾まで販売

境町特産品還元！うなぎ工場還元祭

うなぎ工場還元祭事業に町から助成を行い、1尾3,000円のうなぎを1,000円で販売(1世帯5尾まで)しました。7月中旬までに申込み、その後抽選し、S-Lab4thにて販売会を実施しました。



お得意に買えて嬉しいです！

5/31-6/1

「第21回 中畑清杯争奪中学校女子ソフトボール大会」を開催

第21回中畑清杯争奪中学校女子ソフトボール大会が、境第一中学グラウンド及び境町大歩グラウンドにおいて開催されました。今年の大会は、初日が降雨により中止となったことから、2日目の6月1日(日)に特別ルールを適用し1日のみの開催となりました。境一中をはじめ、茨城・埼玉・千葉・栃木から合同チーム3校を含む20チームが参加し熱戦を広げ、境一中は健闘し第4位に入賞しました。

試合後の表彰式と交流会には、2008年北京オリンピック・ソフトボール金メダリストの坂井寛子さんらが参加し、お笑い芸人のアントキの猪木さん率いる偽りジャパンの芸人さんを中心にじゃんけん大会が行われるなど、和やかな雰囲気の中、親交を深めました。



選手宣誓を行った境一中キャプテン 中山明々花さん



境一中ソフトボール部の選手とアントキの猪木・偽りジャパンの皆さんでの記念



中畑清杯参加者の集合写真

R6 8/22 ~ 26

中島ゆいさんが水泳で全国大会に出場し1位に!

中島ゆいさん(境一中)が第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会に出場し、200m背泳ぎ部門は、B決勝1位に、4×100mメドレーリレーは6位に入賞しました。また、今年3月行われた、第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会にも出場し8位入賞となりました。

中島さんの今後のさらなる活躍を期待しています。



R6 9/29

大里拳輝さんがボクシング全国大会で優勝に輝きました!

大里拳輝さん(当時境一中)が、第6回ジュニア・チャンピオンズリーグ全国大会に出場し見事優勝に輝きました。おめでとうございます。さらに昨年8月に行われた、第11回全日本UJボクシング王座決定戦にも出場し準優勝に輝きました。

大里さんの今後のさらなる活躍を期待しています。



R6 9/15

野本宙さんが剣道で全国大会に出場し8位入賞

野本宙さん(当時猿島小)が第19回全日本都道府県少年剣道優勝大会に出場し第8位に入賞しました。

また、昨年10月に行われた、全国道場少年剣道選手権大会第41回小・中学生女子の部にも出場しています。

野本さんの今後のさらなる活躍を期待しています。



R6 8/10 ~ 20

大野隆斗さんがサッカーで全国大会に出場しベスト8に!

大野隆斗さん(当時境二中)が所属するFCラヴィータが第39回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)に出場しました。大野さんはスタメンで出場し、健闘の末、見事ベスト8に入賞しました。また、昨年12月に行われた高円宮杯JFA第36回全日本U-15サッカー選手権大会にも出場しました。

大野さんの今後のさらなる活躍を期待しています。



7/12

お出かけついでに選挙へ! 移動式期日前投票所を設置



境町では7月12日(土)、参議院議員選挙の投票率向上と投票者の利便性を図るため、町が所有する多目的車両を使った移動式の期日前投票を実施しました。

午前中は、うなぎ工場祭開催によって多くの来場者が訪れているS-Lab4thの駐車場で、午後には週末子育て世帯が遊び場として集まる上小橋の「境町ニコニコパーク」に投票所を設置し、1日で82名が投票されました。

投票された住民からは「当日に投票所まで行くのも大変なので、ついでに投票ができて便利でした。」とコメントがありました。



うなぎ工場祭に参加した方たちが期日前投票をする様子



車内での投票の様子

境町ニコニコパークでの投票所の様子

7/22 ~ 8/22

期間限定! 静かで広い議場を自習室として開放

暑さが厳しい中、エアコンの効いた涼しい環境で自主学習に取り組んでもらおうと、境町議会は7月22日(火)~8月22日(金)まで(休日、お盆期間除く)、議場35席を午前9時~午後5時まで開放しました。中学生以上が対象で町外の方も利用できます。期間中に74名の方が利用し、「涼しくて机も広く勉強がはかどります。」「家よりも集中して勉強できます。」といった好評の声が多く寄せられました。



自主学習をする様子。静かで広いスペースで集中しています。

7/1

第75回社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」に関する総理大臣からのメッセージが、猿島地区保護司会境支部、猿島地区更生保護女性会境支部の皆さんから野尻副町長に伝達されました。この運動は、法務省の主唱により、犯罪や非行の防止と罪を犯した人の更生についてすべての国民の理解を深め、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築こうとするもので、毎年7月を強化月間として全国的に展開されています。



猿島地区保護司会境支部、猿島地区更生保護女性会境支部の皆さん

8/6 ~ 8 • 8/22

マハロタウンのママたちが企画! 「こどもベース」 「マハロ夏祭り」 開催

境町「マハロタウン」のママたちが、住吉町公民館を活用した子どもの居場所づくりを自主企画し、8月6日(水)~8日(金)の3日間「こどもベース」を開所しました。未就学児から小学生が各日の午前中に、自習したり、遊んだりするスペースをつくり、地域の子どもたちが利用しました。お金をかけずに既存の施設やあるものを活用して、まずはやってみようという想いによって実施されました。また、22日(金)にはマハロ夏祭りを開催し、ヨーヨー釣りや的あて、お面づくりなどに、マハロタウンに住む多くの子どもたちが参加していました。マハロタウンの皆さんは、地域のイベントにも積極的に参加され地域を盛り上げています。



「こどもベース」での自主学習の様子



▲たくさんの方がお祭りに参加!

▶夏祭り運営者で記念撮影



（株）新井建設工業が町に寄付

（株）新井建設工業（新井孝代表取締役）が利根川大花火大会に役立てていただきたいと、120万円を寄付されました。



寄付に訪れた新井代表取締役（写真右）

中和建設（株）が町に寄付

中和建設（株）（鶴見真那人代表取締役）が利根川大花火大会に役立てていただきたいと、120万円を寄付されました。



寄付に訪れた鶴見代表取締役（写真右）

（株）篠原工務店が町に寄付

（株）篠原工務店（篠原純一代表取締役）が利根川大花火大会に役立てていただきたいと、120万円を寄付されました。



寄付に訪れた篠原代表取締役（写真右）

（株）希光興業が町に寄付

（株）希光興業（齊藤司代表取締役）が、教育のために役立てていただきたいと、10万円を寄付されました。



寄付に訪れた齊藤代表取締役（写真中央）

株式会社鰻楽の大森郁子様が町に箱庭セットを寄贈
境町教員へ箱庭療法研修会を実施

株式会社鰻楽（宮崎県）の大森郁子様が町の教育に役立てていただきたいと箱庭療法セット（150万円相当）を寄贈されました。大森様は臨床心理士としてもご活躍されております。今回講師として、寄贈された箱庭を活用して、心理療法の一技法である「箱庭療法」の理論と方法の講義や「箱庭」の体験を通して、先生たちの資質向上や児童生徒への支援の一助となるよう研修会が開催されました。



寄贈いただいた箱庭セットの一部（大森様：写真右）

南条浩さんが町に寄付

6月8日（日）に中央公民館にて開催された「南条浩カラオケ発表会」の収益金15万8,499円を教育振興に役立てていただきたいと寄付されました。



寄付に訪れた南条さん（写真中央）

（株）坂東太郎が町に寄付

（株）坂東太郎（青谷英将代表取締役）が、中学生リーダー育成研修事業の費用助成のため、20万円を寄付されました。



さかいふるさと祭り協力が町に寄付

さかいふるさと祭り協力会（新井孝会長）が利根川大花火大会に役立てていただきたいと、316万円を寄付されました。



寄付に訪れたふるさと祭り協力の皆さん



箱庭療法の講義を行う大森様



実際に箱庭を体験する先生方

第41回境町高齢者ゲートボール大会

会場：ふれあいの里

参加チーム数／参加人数：3チーム 17名

- 優勝 山神町長生会 A
準優勝 塚崎一区いきいきクラブ
第3位 山神町長生会 B



優勝した山神町長生会Aの皆さん

第74回 境町グラウンド・ゴルフ協会大会

会場：ふれあいの里 出場者数：223名

◆男子の部（敬称略）

- 第1位 石川 和興（下砂井） 32ホール 73打
第2位 田沼 政男（浦向） 32ホール 73打
第3位 猪瀬 政男（山神町） 32ホール 75打

◆女子の部（敬称略）

- 第1位 山田 チエ（浦向） 32ホール 74打
第2位 斉藤 好江（塚崎一） 32ホール 79打
第3位 岸本 栄子（七軒） 32ホール 80打



後列…左から田沼さん・石川さん
猪瀬さん・左から岸本さん・山田さん
前列…左から斉藤さん・山田さん

第75回境町グラウンド・ゴルフ協会大会

会場：ふれあいの里 出場者数：211名

◆男子の部（敬称略）

- 第1位 青木 登（若林連台） 32ホール 68打
第2位 仲村 敏明（宮本町） 32ホール 71打
第3位 甲斐 敬通（大歩） 32ホール 72打

◆女子の部（敬称略）

- 第1位 青木 すみ子（大歩） 32ホール 74打
第2位 加藤 恵子（浦向） 32ホール 74打
第3位 落合 静子（大歩） 32ホール 74打



後列…左から加藤さん・青木さん
落合さん・左から仲村さん・甲斐さん
前列…左から青木さん・山田さん

境町グラウンド・ゴルフ協会によるボランティア活動

境町グラウンド・ゴルフ協会では、利用者が快適に使用できるよう、ふれあいの里グラウンド・ゴルフ場整備等の協力を行なっています。4月28日（月）には、冬用のコースから夏用のコースへの切り替え作業を、協会役員で実施しました。また、協会では春から秋にかけて毎週1回程度、役員が当番にてグラウンド・ゴルフ場の整備を行なうほか、有志による除草作業、枯葉の収集等の活動を実施しています。

Y'pep（ワイズペップ）エアロビクス
クラブが全国大会に出場

Y'pep エアロビクスクラブは1月25日（土）に行われた全国エアロビック選手権（静岡県袋井市）に出場、それぞれのカテゴリーの部門に参加した2チーム6選手が奮闘し、3位と5位に輝きました。その他にも、SUZUKI JAPAN CUP2024 第41回全日本総合エアロビック選手権大会にも出場し、8位入賞するなど健闘されました。今後のY'pepの皆さんのさらなる活躍にご期待します。

【全国エアロビック選手権大会】

ユースJトリオ

- 第3位 篠塚結梨さん（静小）
赤荻音々さん（猿島小）
中山陽菜さん（森戸小）

ユース1トリオ

- 第5位 佐怒賀夢さん（当時森戸小）
菅谷希優さん（当時長田小）
鈴木楓乃音さん（境一中）

全国大会出場

全国大会に出場した皆さんです。今後の更なる活躍を期待しています！

NPB ガールズトーナメント 2024

中澤せりなさん（当時静小）

第58回全国道場少年剣道大会
境剣友会団体戦
初見壱之介さん（境一中）
倉持壮志さん（境二中） 他

令和7年度第66回全国高等学校総合体育大会兼第72回全国高等学校剣道大会
鶴見那鳳さん（小山高校）

ジャパンオープン 2024
令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技会
青山侑蒼さん（境高校）

とびうお杯第39回全国少年少女水泳競技大会
染谷華さん（境小）

全国エアロビック選手権大会
SUZUKI JAPAN CUP2024
第41回全日本総合エアロビック選手権大会
横川華蓮さん（境小）

全国エアロビック選手権大会
第20回全国フライト・エアロビック選手権大会
横川結迦さん（古河中等教育）

第38回全国都道府県対抗中学バレーボール大会
池田稟空さん（当時境一中）

2024年度第29回日本ジュニアゴルフ選手権
2024全国高等学校ゴルフ選手権春季大会
2025年第66回日本女子アマチュアゴルフ選手権
佐藤彩葉さん（埼玉栄高校）

令和6年度全国高等学校総合体育大会弓道競技大会
能勢陽さん（当時境高校）

令和7年度全国高等学校総合体育大会弓道競技大会
第70回記念全国高等学校弓道大会
張替誠稀さん（境高校）



絵の世界展

9月10日(水)～10月13日(月) 10:00～12:00 (入館は11:30まで)
13:15～17:00 (入館は16:30まで)

休館日：月・火曜日、9月17日(水)、24日(水)
※9月15日(月)、23日(火)は開館

入館料：330円 18歳未満、65歳以上は無料(年齢が確認できるものを提示)
各種障がい者手帳をお持ちの方と付き添い1名無料

主催：境町 企画：境町アートプロジェクト
協力：学校法人 瓜生山学園 京都芸術大学 通信教育課程

S-Gallery 肅榮寶美術館にて開催された笠井誠一展(2025年4月9日～5月6日)で境町に多大なるご協力をいただいた笠井誠一先生が6月12日に老衰によりご自宅で逝去されました。5月3日にご来館いただいた日は笠井先生の93歳の誕生日の日でした。いつ寿命が尽きてもおかしくない状況であることをご家族から事前に伺っていましたが、笠井先生ご自身の「作家が生きているのに自分の展覧会に足を運べない事ほど恥ずかしいことはない」との強いお考えにより、ご来館が実現することとなりました。会場に到着された笠井先生は、ゆつくりとした足取りで、ご自身の作品を一点一点しっかりとご覧になっていました。そのお姿はとても静かでしたが、視線は鋭く、画家としての力強さが漲っていた様に感じられました。

笠井誠一展にはごあいさつ文として境町アートプロジェクトより以下の言葉を寄せました。
「卓上に配された楽器、日用品、果物などのモチーフを描く画家・笠井誠一にとって、絵画とはどのような存在なのか。本展では、笠井によって書き綴られた絵画への情熱と思考の軌跡と共に、フランス留学時代の1960年から2023年までの作品20点を一同に並べ、笠井が追い求めた絵画の世界に迫ります。皆さまにとって絵画とは何か、絵画の魅力とは何かを再発見する機会になります。ありがとうございました。」
笠井先生は生涯を通して一貫して絵画に全身全霊を尽くした方でした。ご生前のご厚情に深く感謝いたしますとともに、謹んで哀悼の意を表します。S-Gallery 肅榮寶美術館の笠井誠一展の会期中にご紹介していた、笠井先生の動画を改めてご紹介いたします。2022年に90歳を記念して撮影された1時間46分22秒の動画です。笠井先生の絵画とその情熱は私たちのこれからの道にも大きな気づきを与えてくれると思います。ぜひご視聴ください。

画家 笠井誠一
「今、伝えておきたいこと」



番外編
「日本美術について」



©Youtube アトリエマハちゃんねる

information ▶
SAKAI ART project

「卯野和宏 第19回アヴニール展」
期間：9月25日～10月4日
会場：春風洞画廊
(東京都中央区日本橋3-8-10)

笠井誠一 かいせい せい いち 略歴
1932年(0歳) 現在の北海道札幌市に生まれる
1949年(17歳) 画家を志し、単身上京する
1959年(27歳) 東京藝術大学美術学部専攻科修了、渡仏帰国
1966年(34歳) 愛知県立芸術大学講師となる
1967年(35歳) 愛知県立芸術大学教授となる
1974年(42歳) 愛知県立芸術大学を定年退官し、愛知県立芸術大学名誉教授となる
1998年(66歳) 《一つの卓上静物》で第24回安田火災東郷青児美術賞を受賞
2001年(69歳) 笠井誠一画集「がく龍堂から出版される」が求龍堂から出版される
2011年(79歳) 《笠井誠一展「形の世界」》が練馬区立美術館で開催される
2018年(86歳) 《笠井誠一展「がく龍堂から出版される」》が練馬区立美術館で開催される
2025年(93歳) 5月3日来館、6月12日逝去



▲S-Gallery 肅榮寶美術館 笠井誠一展にて 2025年5月3日、笠井誠一先生と卯野和宏



俳句

令和七年七月 境町文化協会俳句部

兼題 「炎天・夕顔」 他当季雑誌

兼題解説

「炎天」

※真夏の強い日差しが照りつける空を指す季語で特に晩夏に使用されることが多く、焼け付くような暑さや陽炎が見えるような幻想的な光景を表現しています。

「夕顔」

※夕顔は夕暮れにほの白い花を開き、その花は翌朝にはしぼむ。花のあとには丸い大きな薄緑色の実を結び、この実から干瓢ができる。

炎天や鳥もひっそり木蔭かな
炎天や番犬飽かず穴を掘る
炎天をにらみ蛇口の水飲む子
炎天や平和の祈り沖繩忌
炎天やだれも無口の飯処
炎天や野良の帽子の赤りボン
炎天や球児のプレー 神宿る
炎天の露店の主人濡れタオル
グラウンドに歓声上がる炎天下
大輪の夕顔咲いて主待つ
夕顔やモグラ塚有る畑かな
夕顔や主逝きしを知らず咲き
夕顔の横を子猫はそっと行き
夕顔や咲きし鮮やぐ野畑に
夕顔を妻と眺めつ夜も更けて

(鈴木) むりき
(川邊) 光夫
(高塚) 香こ
(印出井) 慶子
(渡辺) 久子
(田村) 正子
(渡辺) 晴美
(和田) 雄節
(古谷野) 信子
(中嶋) きよ乃
(高橋) 春年
(中村) 仁
(石塚) 芙蓉
(大岡) 幸子
(柿沼) 学

短歌

青々と草花伸びる姿見て過ぎた季節の早さ驚く

猛烈な暑さに耐えて日が沈み虫の音聞こえて心和ます

萩の花来る風に乗りふわふわと遊び心が我も芽生える

日曜版のクロスワードを解くたびに競いし朋の亡きぞ寂しき

裏庭のすすきの花穂切り取りて供えし待てり十五夜の月

ひぐらしの声も聞こえず打ち水を暑き夕暮れ汗をふきつつ

秋空に夜の帳がおりる頃虫の音色に耳をすませる

蝉すだく声も聞かれず暑き夏澄みし青空秋の気配に

青い空柿の葉そよぎ風さわぐ狭庭に立ちて盛夏楽しむ

朝々に風騒がしく吹く庭に萩の若枝ざわめきおどる



夕顔やあまた咲けどもみな無口

夕顔や割烹着の妻出陣す

夕顔の白き大花や夕涼し

夕暮れや夕顔の花白く浮き

(宇野) ひろこ
(鹿久保) 喜一
(落合) すみ子
(前田) 妙子

境短歌会 山鳩

川上京子

川上京子

川村米子

古谷野信子

斉藤敬子

桜井レイ

五月女三枝子

鈴木喜興子

松岡美智子

本島イト子

広告枠



令和7年7月26日(土)、今年も、第38回さかいふるさと祭りの「歩行者天国祭り」が開催されました。

オープニングを飾ったのは、町内小学生による「鼓笛隊パレード」です。猛暑にも負けず、日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしい演奏を披露してくれました。

各イベント会場では、境スタンプ会による「ジャンボあみだ抽選会」、河岸の駅前会場では、子どもたちによるダンス披露、BMXの体験会やヒーローショーなど盛りだくさんの内容で開催されました。住吉町会場では八勝会による空手の演武や、華やかなフラダンス、ダンススタジオによるパフォーマンス披露、ライブなどで大いに盛り上がりました。松岡町会場では五ツ輪会による踊りや境町交通安全会母の会OG会によるよさこい、子どもたちによるダンス披露、盆踊りなどが行われ、参加者は樽を囲み、音頭に合わせて踊り、会場に笑顔があふれました。威勢の良い神輿が町内を練り歩き会場の熱気は最高潮に！今年も町内外からの多くの来場者で賑わい活気に満ちた一日となりました。



町の人口と世帯数 ※令和7年9月1日現在の常住人口(前月比)

■総人口 23,839 人 (-28) ■男性 12,117 人 (-24) ■女性 11,722 人 (-4) ■世帯数 9,482 世帯 (-8)

■発行所 / 境町役場 〒306-0495 茨城県猿島郡境町 391-1 Tel.0280-81-1329 ■編集 / 秘書広聴課 ■発行日 / 令和7年9月1日

■境町ホームページ <https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/>